

## Joint Studio 3 「MAKE」

期間： 2023年3月19日～3月24日

場所： 東京（多摩美術大学八王子キャンパス）

参加者： **Prof.Kirsti Bræin** (Fashion and Costume Design, KHiO)、**Prof.Toni Kauppila** (Interior Architecture and Furniture Design, KHiO)、**オスロ芸術大学学生 10名** (KHiO)

**川井由夏教授**（生産デザイン学科・テキスタイルデザイン専攻）、**濱田芳治教授**（生産デザイン学科・プロダクトデザイン専攻）、**尾形達講師**（生産デザイン学科・プロダクトデザイン専攻）

**遠藤絵美非常勤講師**（生産デザイン学科・テキスタイルデザイン専攻）、**河崎日菜子副手**（生産デザイン学科・テキスタイルデザイン専攻）、**金井千夏助手**（生産デザイン学科・プロダクトデザイン専攻）、**斉藤理沙副手**（生産デザイン学科・プロダクトデザイン専攻）

**テキスタイルデザイン専攻学生 11名、プロダクトデザイン専攻学生 19名**

概要：オスロ国立芸術大学デザイン学科と多摩美術大学生産デザイン学科の国際交流プロジェクト〈CONNECTING WOOL〉の Joint Studio3 を実施。オスロ芸術大学の教員・学生が来日。テーマ「MAKE」に基づき、羊の北方固有種から採れるワイルドウールを用いた製品提案を行うべく、6日間の集中ワークショップを行った。

背景：ノルウェー教育国際協力センター（SIU）の UTFORSK Partnership Program（人物相互派遣を通して高等教育機関の国際交流推進を目的とする4年間の助成プログラム）に2018年度採択された〈CONNECTING WOOL〉プロジェクトを開始。ノルウェー北部に生息する北方固有種「ワイルドシープ」を中心に羊毛の新しい素材活用方法を探究しながら学生および大学間の国際交流を深める。Covid-19の影響により中断していたが、2022年秋よりオンライン上で再開、2023年3月に Joint Studio 3 として対面で行った。

報告：八王子キャンパスでのキックオフミーティング後、混成の7チームに分かれ各チーム速やかに制作に入った。2022年11月～12月に掛けて両校学生が参加してオンライン上で事前ワークショップを行い、更に2023年1月末からアイデア出しのプレ・ワークショップをオンライン上で進めてきており、ワークショップ日数の短さへの対応とメンバー間のコミュニケーションを円滑にする工夫を行った。今回の Joint Studio のテーマが「MAKE」だったこともあり、羊毛を主素材に用いて手で作りながら考えを進めるプロセスでワークショップ期間の多くを費やした。目の前にある素材を用いてアイデアを形にしながら進めるプロセスは、言語の違いや文化背景の違いを乗り越える際の有効な方法となることが分かった。

最終日には、ノルウェー大使館の協力により、大使館内で最終プレゼンテーションを行った。ワイルドウールの活用の仕方を、各チームそれぞれがプロトタイプモデルを用いながら英語でプレゼンテーションを行った。

